

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹
表紙イラスト こみね さおり



第 1 4 号

森の掃除屋さん

人間社会では、ゴミの収集が一週間行われなかった場合、街はゴミだらけになってしまい、人々は大変な思いをします。リサイクルやリユースの効果も今一つです。森にも、枯れ木や落ち葉、動物の排泄物や死骸など、ゴミとはいわないまでも、処理されなければ溜まってしまい不都合なものもあります。でも、森はそれらのものが溜まったままということはありません。それは、森に優秀な掃除屋さんが居るからです。掃除屋さんのメンバーは様々です。菌類やバクテリア、ダニ・ダンゴムシ・ミミズなど、メンバーを挙げていけばきりはありません。そこで、数ある掃除屋さんの中から特に昆虫類を取り上げてみようと思います。そのためには、東中にもどのような昆虫の掃除屋さんが居るのかを調べなければなりません。そこで、「腐肉トラップ」という方法を使用して、掃除屋さんをおびき寄せようと考えました。この方法が成功し、上手く昆虫をおびき寄せることができたならば、「新・東中とんぼ通信」紙上に報告したいと思います。

ズーラシアに行ってきました

1年生の

校外学習で「よこはま動物園」を6月7日に訪れました。当日は動物園の使命について説明を受け、餌作りや展示スペースの裏側なども見学することができました。色々な説明の中で、心に残ったお話があります。それは、飼育係の方の責任の重さについてです。「飼育係は命を預かっています。だから、例え長寿を全うした動物についてさえ、自分が殺してしまったと考えるのです。」というお話でした。実に厳しい姿勢ですね。

東中農園の規模拡大

各「わかばクラス」が農園学習に取り組むことになり、現在設定されている「東中農園」の耕地面積が不足気味になってしまいました。そこで急遽、農園の造成を行うことになり、技術員の竹川さんや岩崎先生の協力のもと、C棟校舎裏の斜面に畑を造りました。この土地は、以前、畑

わかばクラス苗の植え付け始まる

各クラスで購入した苗が届きましたが、あいにく、頼りの3年生は、校外学習で関西地方を訪れており、学校には不在です。早く植え付けなければ苗がだめになってしまいます。このピンチを1、2年生が救ってくれました。2年生は去年の経験を生かし、1年生は良く協力して、この難局を乗り切ったのです。

「わかばクラス」のサツマイを栽培することにし、植え付けを行いました。

として利用されていたらしいのですが、放置されて何年も経っているため、藪くさぶかに戻ってしまい、畑に戻す作業は難航しました。やはり、農地というのは使い続けることが大切なのです。幸いお二人とも機械作業の達人なので、今回は動力を使用することができました。しかし、畑はまだ完全に整備されたわけではありません。今後の作業は「わかばクラス」の皆さんの肩にかかっています。豊かな実りを迎えるためには、手作業によるきめ細かな整備が必要になります。この畑は各

